

第32回 全国市民オンブズ^{ダイ}大大阪大会のご案内

全国市民オンブズマン連絡会議

全国市民オンブズマン連絡会議は、下記日時、場所で、全国大会を開催します。

2025年 10月25日（13：00～18：00） 全体会

10月26日（9：10～12：00） 分科会

場所 ドーンセンター（大阪）（ウェビナーで全国に配信）

毎年開催している大会で、第1回は1994年に仙台で開催しました。今回で3

2回目、大阪開催は Web 開催となった昨年にひきつづいて3回目となります。

教育、カジノ誘致、夢洲開発などの大阪で起こっている問題は、大阪だけの問題

ではなく、今も、あるいは近い将来日本全国でも起こりうる、という視点から、

大阪、近畿圏の問題を掘り下げること、日本全国の地方公共団体の今と将来を

考える大会にしよう、と、大大阪大会と名付けました。

1日目は全体会で、政務活動費の情報公開度ランキングと使途基準のランキン

グの発表、AI を用いた談合の追及、包括外部監査の通信簿、消防デジタル談合

事件の総括のほか、大阪の問題（万博と IR など現地のグループによる報告）と

各地の市民オンブズマンの報告を行います。

2 日目は分科会で、大阪で起こっていることをさらに掘り下げる「大阪問題分科会」最高裁の画期的な判決を生かすための研究会「情報公開分科会」、政治家の政治資金収支報告書や政務活動費の使途をチェックする方法を検討する「政治と金分科会」を開催します。

その後、大会宣言を採択して2 日目は終了します。

また、午後、オプションとして「お笑い大阪万博」と称して大阪万博の問題点を面白くもタメになる企画も用意しています。

【調査の発表項目（今年の調査結果は記者会見で発表します）】

1 政務活動費ランキング

① 公開度（47 都道府県・20 政令指定都市・62 中核市の比較）

ネットでの政務活動費の公開を求めて、ネット公開の充実度を毎年調査しているものです。公開度を挙げた自治体がどのくらい増えたか、去年下位の自治体の改善が注目されます。

* 24 年度調査では、都道府県47 位は岡山県、46 位は和歌山県で、政令市では20 位は横浜市と名古屋市でした。

② 執行率（４７都道府県・２０政令指定都市・６２中核市の比較）

＊２３年度の平均執行率は８２．３％でした。今年の平均執行率は？執行率が減少した自治体は？開示度の低い自治体ほど執行率が高いという傾向は今年も続いているか？

③使途マニュアル（都道府県・２０政令市）

去年の調査では、最も高得点を得たのは東京都と徳島県の４５点。最下位は愛媛県の５点。平均点は都道府県で２０点。政令市の最高得点はさいたま市の５４点。最下位は横浜市と名古屋市の１０点、政令市の平均点は２５点。悲惨な結果におわった去年の使途マニュアルランキングは、市民の政務活動費に対する目線と議会の意識に大きなズレを示すものでした。

去年と制度を変えた自治体はどのくらいあるか、ズレはその程度解消されたかが注目されます。さらには、各自治体の政務活動費の使途の可否を全国との比較をするためにも使途基準は有効です。

２ 落札率調査（２４年の都道府県・政令市）

平均落札率の調査です。談合の疑惑追及の必携データです。

◎大会についての記者会見を10月24日、大阪市役所の記者クラブで行います。全国オンブズの代表幹事、事務局長らが参加予定です。取材していただきますよう、お願いいたします。

2025年度 政務活動費 情報公開度ランキング、政務活動費 アンケートについて

全国市民オンブズマン連絡会議
連絡先 児嶋研二

対象議会 47都道府県議会、20政令市議会および62中核市議会の合計129議会。
調査実施期間 2025年5月質問表送付。2025年5月1日現在の状況を質問。
調査方法 各自治体の議会事務局宛にメールで質問表を送信した。
必要に応じ自治体ホームページで回答の内容を確認した。
調査結果の詳細は、大会資料集に掲載。 情報公開度ランキングについては、9回目の公表。

<情報公開度ランキングの採点基準>

開示される情報の種類のほか、「住民がどれだけ政務活動費の情報にアクセスしやすいか」を重視して採点基準を作成。 100点満点

1、領収書の公開について (30点)

(ア) ネット公開 15点、 (イ) 領収書原本提出 7点、
(ウ) 領収書の支払先個人名公開 5点、 (エ) 領収書閲覧で公開請求不要 3点

2、会計帳簿(出納簿、支出の内訳など)について (20点)

(ア) ネット公開 10点、 (イ) 提出を義務付けている 10点、

3、活動報告書(20点)、視察報告書(20点)について

(ア) ネット公開 10点、 (イ) 報告書の作成を義務付け、公表 10点、

4、マニュアルの作成、ネット公開 (10点)

(ア) マニュアルを作成している 5点、(イ) マニュアルをネットで公開 5点、

(1) 政務活動費公開度ランキングの結果

(ア) 都道府県

- ・最下位 岡山県10点、 46位 和歌山県18点、 45位 福島県19点、
- ・1位 兵庫県、奈良県 97点、 3位 大阪府、京都府、鳥取県 92点
- 6位 東京都、富山県 90点、

(イ) 政令市

- ・最下位 名古屋市、横浜市 17点、 18位 福岡市 26点、

17位 岡山市 27点

・1位 静岡市 97点、 2位 京都市、堺市 92点、
4位 新潟市 90点、

(ウ) 中核市

・最下位 水戸市 17点、 61位 船橋市 27点、
60位 福井市 30点、

・1位 函館市 100点、
2位 山形市、郡山市、越谷市、富山市、奈良市、久留米市 97点、
8位 八戸市、宇都宮市、横須賀市、豊橋市、東大阪市、
西宮市、那覇市 95点、

《43議会(33.3%)が 50点以下》

50点は、「領収証を原本で提出し、閲覧ができ、会計帳簿、活動報告書、視察報告書の作成を義務付けし公表、マニュアルをネット公開」していれば獲得できる点数である。50点も取れないのは、基本的な情報の作成すら義務付けていないことを意味している。

(2) 領収書のネット公開について、

・領収書をネット公開しているのは、28 都府県、13 政令市、50 中核市の合計 91 議会(全体 129 議会の 70.54%)。 領収書のネット公開の歴史は、2013年は1議会のみ、16年は9議会、17年は30議会、20年は73議会。 昨年より、2議会増えた。
(札幌市議会は個人情報を入力させるため「ネット公開」に含めていない)

(3) 昨年より公開度が大きく改善した議会は豊橋市議会のみ。

政務活動費に関する不祥事は相変わらず続いているが、豊橋市議会が領収書、報告書のネット公開を行いプラス45点増加となった以外は、ほとんど改善されていない。全体の平均点としては、昨年62.1点が、今年は63.0点に上昇しただけである。

(4) 札幌市議会 ネット公開個人情報入力問題

札幌市議会では、今年度より、領収書のネット公開を決めたが、閲覧には、専用フォームに氏名や住所などの個人情報を入力し、「不適切な利用や改ざんを禁じる」との留意事項への同意も求めている。議員から「領収書の画像が改ざんされるなど悪用されかねない」との意見がありトラブルに備え申込制とした、とのことだが、政務活動費の領収書は、20年以上前から公開されているが、住民が悪用した「トラブル」など聞いたこともない。議員によ

る領収書の改ざんなどの不正使用は毎年のように報道され、札幌市議会も、議員による政務活動費の不正使用が大きく報道されるなかで、領収書のネット公開を決めているが、住民の個人情報の入力を求めるなど本末転倒である。

（５）昨年より、全国の都道府県・政令指定都市の議会の「政務活動費マニュアル」を入手して、市民オンブズマンからみた、各マニュアルの＜デキの良し悪し＞を評価することにした。マニュアルを点検する理由は、マニュアルの内容を良いものにすることが、政務活動費のあり方を改めさせる最も効果的な方法だからだ。昨年と比較して、マニュアルの改善はほとんど進んでいない。

政務活動費アンケート結果について

（１）執行率の変化 （ 執行率＝（収入総額－返還総額）÷ 収入総額 ）

	2023 年度分	2024 年度分	
・都道府県議会	83.8%	85.9%	2.1%増加
・政令市議会	83.5%	86.0%	2.5%増加
・中核市議会	72.5%	74.5%	2.1%増加
・合計	82.3%	84.5%	2.2%増加

（２） 2012 年 8 月の地方自治法の突然の「改正」（政務調査費から、政務活動費への変更、使途の拡大）以降の平均執行率の変化

	2013 年度分	⇒	2024 年度分	
都道府県	92.7%		85.9%	6.8%減少
政令市	90.0%		86.0%	4.0%減少
中核市	87.7%		74.5%	13.2%減少
合計	91.5%		84.5%	7.0%減少

11 年間で全体の執行率は 7%減少している。昨年度より執行率が若干の増加したのは、コロナ後の視察の増加によるもののようである。

《まとめ》

政務活動費の情報公開度ランキングによって、政務活動費の情報公開が少しずつ進んでいることが明らかになった。また、これまでの調査で「不祥事が起こる」又は、「領収書がネット公開される」と政務活動費の執行率が減少する事態は、政務活動費が、本来の調査研究活動に支出されていないことを示している。さらに市民の声で、HPでの領収書の公開などを強く求めていく必要がある。

政務活動費マニュアルランキング

全国市民オンブズマン連絡会議

1 調査の目的とねらい

政務活動費の不適切支出の背景にあるもの

- ①マニュアルに記載がない→私的利用や議員らの資産形成を許す
- ②マニュアルが曖昧→議員の主観に左右
- ③マニュアル自体が目的外支出を許す

*都道府県、政令市の政務活動費の支出マニュアルを入手（24年7月）し、①②③の観点からマニュアルを100点満点で採点

2 調査項目と配点（詳細は別添の調査基準）

- ア 政務活動費が政党に流出することを、どう規制しているか。（20点）
- イ 議会控室での経費について、按分支出を要求しているか。（10点）
- ウ 自動車燃料代を実費によらずに支出することを禁じているか、及び、実費による場合に議員の主観による按分を禁じているか。（10点）
- エ 自動車リース代の支出を禁じているか。（10点）
- オ 広報広聴費について上限1/2の按分支出を命じているか。（20点）
- カ 飲食を伴う会合に参加する費用の支出を、議員の主観を許さない形で禁じているか。（15点）
- キ 生計を一にする親族等への支出をどう規制しているか（15点）

3 調査結果

（1）都道府県

- 1位 東京都、徳島県（45点）、3位 京都府（37点）
- 46位 埼玉県、愛媛県（5点）、45位 静岡県（7点）
- △平均点 20点

（2）政令市

- 1位 さいたま市（54点）、2位 神戸市（41点）
- 19位 横浜市、名古屋市（10点）

*ちなみに横浜市、名古屋市は開示度でも最下位

（3）昨年度と比較した改善

岐阜県（親族等支出で+3点）、石川県（広報費で+2点）だけで、平均点にも影響なし

（4）結果に対して

- ①低過ぎる最高点・平均点→政務活動費に対する市民の常識と議会の認識との乖離
- ②特に検討が遅れている項目（得点率＝平均点/満点＝が低い項目）
 - 会派控室への政務活動費の支出の規制（都道府県 平均0.1/10）
 - 広報広聴費の按分（都道府県 2.7/20・政令市 3.1/20）
 - 生計を一にする親族らに対する支出については検討がすすむ？（都道府県 5.9/15 政令 6/15）
- ③改善はほとんど進んでいない。
- ④明確なマニュアルの制定→政治不信の対策であることの自覚を求める。

第32回 全国市民オンブズ大大阪大会

ゆめしまは ゆめのあとさき カネの海



参加予約は
こちらから



大阪万博・IR・政務活動費・談合・包括外部監査etc

参加費2000円

懇親会5000円

ネット参加無料

資料集（紙）・
包括外部監査の
通信簿購入は→



全国各地から大阪に結集！

2025年

10月25^土 26^日

会場：ドーンセンター（大阪）

大阪府中央区大手前1丁目3番49号

京阪、Osaka Metro谷町線「天満橋」駅 ①番

出入口から東へ約350m

<https://www.dawncenter.jp/shisetsu/map.php>

要事前申込（締切10/8（水））

現地参加定員あり（先着順） 右上QRコード

もしくは以下問い合わせ先からお申し込みください。

主催：第32回全国市民オンブズ大大大阪大会実行委員会

TEL 052-953-8052 FAX 052-953-8050

<https://www.ombudsman.jp/taikai>

全国調査結果発表、地元オンブズ
からの報告、分科会等盛りだくさん

25日（土）13:00～18:00 全体会

万博とIR 現地からの報告、政務活動費、
AIを用いた談合追及、包括外部監査通信簿、
各地報告、消防デジタル無線・活性炭談合調査、
各県警再就職調査など

18:30～懇親会

ゲスト：せやろがいおじさん



26日（日）9:10～12:00 分科会

+全体会（詳細は裏面）

13:30～オプション企画 お笑い大阪万博

大会
2日目

分科会 10月26日（日）9時10分～11時20分
ドーンセンター+Zoomウェビナー

大阪問題分科会

知事と市長が同じ政党の幹部のため、府と市の行政が歪んでいます。教育、カジノ誘致、夢洲開発について考えます。大阪で起きていることは、他の地域でも起きているませんか。いまはなくても、将来起こるかも？！

政治とカネ

「政治とカネ」問題はいつまで続くのか？『選挙運動費用データベース』を作った安野修右・日本大学准教授にはWEBで、『政治資金収支報告書データベース』を作った政策推進機構 西田尚史氏には録画で、それぞれご参加いただき、市民によるチェック方法を学習します。

情報公開分科会

2025年6月3日最高裁第三小法廷（宇賀克也裁判長）の画期的判決の解説をベースに、情報公開制度の意義、判決で示されたボーンインデックスの重要性、その他情報公開制度の運用のあり方や訴訟のすすめ方などについて森田明弁護士を招き学びます。

大会資料集は無料でダウンロードできます（紙の冊子は購入も可能）



全体会 11時30分～12時 分科会報告、大会宣言、決議など

13時30分～16時 ドーンセンター+Zoomウェビナー（参加費無料）

オプション企画：お笑い大阪万博

事前想定以上にトラブルが多発した大阪万博。なんでこうなってしまったんや？地元民から見た大阪万博の問題点を面白おかしく話します。

スペシャルゲスト:坂本篤紀氏（日本城タクシー社長）

西谷文和氏（フリージャーナリスト）ら

全国大会開催のためのカンパ大募集

全国大会で多数のゲストをお招きいたします。カンパを大募集します。

※当団体は行政や企業・団体からの助成金・補助金・委託料を受け取っておりません。

◎銀行口座：あいち銀行 大津橋支店 普通預金1121502

全国市民オンブズマン大会基金 事務局長 新海聡

◎郵便振替口座 00880-0-92327 全国市民オンブズマン連絡会議

◎ゆうちょ銀行 〇八九店 当座 92327 全国市民オンブズマン連絡会議